



Web Fairy Paradise

第31号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ OFM 第 167 回出題
- ・ Fairy of the Forest #26
- ・

結果発表

- ・ 第29回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第 166 回出題
- ・
- ・
- ・

読み物

- ・ 果報は寝て待て追記
- ・ 妖精賞の系譜（18）最終回
- ・ お便りより（北村太路）



2011/1

はじめに

明けましておめでとうございます。とは言ってももう大分経ってしまいました。早いものでまた一年が始まります。WFPもスタートが2008年7月ですから2年半経ったことになります。自分でこんなのがあったら楽しいなと思っていた事を自分でやっているわけで、実際は楽しいのか楽しくないのか良く分からないわけでもありますが、読んで頂ける方がいる以上続けていく所存であります。

最近では日記も含めてパワーがかなり落ちてきたように感じますが、新たな試みもどんどんやっていきたいとも思っています。ご意見などありましたらどしどしお寄せ下さい。今年もよろしくお祈りします。

今月は、WFPフェアリー作品展（常設展）出題は担当者の交替の為、お休みとなります。これまでの担当者の紅月さんは本号の解説にて最後となります。長い間お疲れ様でした。無報酬のボランティアをお願いしているわけで本当に頭の下がる思いです。今後は創作、解答（厳しい短評）での活躍をお願いいたします。

来月より新担当は、先月にも告知いたしましたが、神無七郎さんです。名前を知らない方はいらっしゃらないとは思いますが紹介は省かせていただきますが、また新しい作品展を構築していただけると期待しています。私なんぞは、担当者名におののいて投稿するのに緊張してこれまでより投稿ペースが落ちるかもしれません。七郎さんに解説頂ける大きなチャンスですので皆さん是非たくさん投稿で盛り上げて欲しいと思います。よろしくお祈り致します。

年が変わりましたので表紙のデザインも少しだけ変えました。とは言ってもイラストを変えただけですけど。テーマは「竜と馬」、去年は竜馬ブームで四国も賑わいました。少しでもそれに肖れればと願いを込めております。

あれ今年「江」でしたか・・・上野樹里の江もいいですね。

【 募 集 】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第31号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

* ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

開催日 : 2011 年 1 月 16 日 (日)
 解答締切 : 2011 年 2 月 12 日 (土)
 解答発表 : 2011 年 2 月 13 日 (日)

雲海 氏作

ナイト王成禁協力詰 87手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

			争		争				一
									二
									三
									四
									五
									六
争								争	七
		歩		驎		歩			八
歩								歩	九

持駒 歩10

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

成禁

詰手順中に成る手があってはならない。

ナイト (驎)

	○		○	
○				○
		驎		
○				○
	○		○	

(○が驎の利き)

チェスのナイト。いわゆる八方桂。本作では玉がナイトの利きを持つので、「驎」と表記しています。

本作の解答をメールで管理人宛 (janacek789@ybb.ne.jp) にお送りください。

【コメント】

例によってネットを漁っていたら「大貧民のススめ」という記事を見つけました。清貧な生活を薦める記事ではなく、トランプゲームの「大貧民」のことです。このゲームは「大富豪」という正反対の名称で呼ばれることもあり、やたらローカルルールが多いのが特徴ですが、この記事では「どうすればゲームが盛り上がるか」が考察されています。

(<http://www.fukuzatsu.jp/mailmagazine/20031222.html> より引用)

さて、ゲームが盛り上がるのはどんな時だろうか。例えば、大貧民が一挙に富豪になるなど、意外な展開が時たま現れると盛り上がる。ふんぞり返っていた富豪が一瞬にして貧民におちぶれても、ざまあみろ的に楽しい。しかし、そういうことがあまり頻繁にあると、運だけのゲームになってしまい、大人には物足りないし、そもそも身分制度の意味がなくなってしまう。このあたりが難しい。

この記事ではルールの最適化についての結論は書かれていませんが、私も少し考えてみました。面倒なので、ここでは人数は4人(大富豪・富豪・貧民・大貧民)、カードの交換は大富豪と大貧民で2枚、富豪と貧民で1枚とします。

ここで更に話を単純化して、互いの戦力は持っているAと2の枚数だけで決まるとしましょう。もし初期の状態がAと2が各人1枚ずつ平等に配られたとすれば、交換後の状態(Aの枚数, 2の枚数)は、大富豪(2, 2)、富豪(1, 2)、貧民(1, 0)、大貧民(0, 0)となります。

これだと戦力差があり過ぎて身分変動が起こらないように見えますが、もしこの4人を「大富豪」と「大富豪以外」に分けると「大富豪」(2, 2)、「大富豪以外」(2, 2)となり戦力は均衡します。つまり大富豪以外の3人が結束して大富豪を倒す動機付けさえあれば、このゲームは「運のゲーム」から「実力のゲーム」になると考えられます。具体的には「都落ち」(大富豪以外の誰かが一番に上がると大富豪が自動的に大貧民になる)を採用するか、点数配分を工夫して大富豪さえ倒せば他のプレイヤーに大きな利得が生じるようにすれば良いでしょう。人数が5人以上(カード交換のない「平民」を加える)なら、更に大富豪はその地

位をキープするのが難しくなるはずですが。他者のカードは見えませんし、誰かが抜け駆けして結束を乱す可能性もありますが、主に「富豪」が「大富豪」を攻撃し、他のプレイヤーがそれをサポートするような基本戦略を採れば、頻繁に身分変動が起こる緊迫の戦いとなるでしょう。

もしこの考察が妥当だとすれば「大貧民」でみられる様々なローカルルール（その多くは大富豪の力を弱めるために考えられたもの）は、未熟なプレイヤーのために運まかせの要素を増量したに過ぎず、熟練したプレイヤーが戦略的思考を競うためには却って邪魔になりそうです。「シンプルにすること」はフェアリー詰将棋のルール設定を考える際にも重要なポイントですが、これは単に「ルールを覚えやすくする」ためだけではなく、「作家が高度な構想を追求することを妨げない」ためにも重要です。良くできたルールは人為的な仕掛けがなくとも良い作品を生み出すものです。

さて、今回の出題は第157回出題でも超大作を発表された雲海氏の作品です。本作に付いている「成禁」条件は成・不成の選択を取り去るので、どちらかと言えばルールをシンプルにする部類の条件なのですが、本作を解くと「実は詰将棋って“成”のルールがない方が高度な作品ができるんじゃない？」などと考えさせられると思います。

ナイトを歩で詰める問題は加藤徹氏のナイト玉ばか詰169手や第15回神無一族の氾濫の2、3などいくつかの作例がありますが、今回の作品はそれらの中でもトップクラスの難問に属すると思います。従って、解答募集期間も通常より長く4週間としています。本サイトのトップページでの出題は今回で一旦休止となりますが、区切りにふさわしい作品ですので、ぜひチャレンジしてみてください。

(担当：神無七郎)

.....

WFPフェアリー作品展 解答・投稿要項

神無七郎

【解答される方へ】

1)解答締切は出題翌月15日です。変更がある場

合はその都度お知らせします。

2)解答の送り先は下記のアドレスです。

janacek789@ybb.ne.jp

3)解答メールの件名は「解答」の語句を含むようにしてください。（迷惑メール扱いされないため。）

4)出題作品やルールに疑問があるときは上記アドレスにお問い合わせください。ただし、解答自体や正解・不正解についてはお答えできません。

5)解答のコメントは結果発表にて掲載いたします。

【作品を投稿される方へ】

1)作品投稿は随時受け付けます。

2)作品の送り先は下記のアドレスです。

janacek789@ybb.ne.jp（解答の送り先と同じ）

3)投稿メールの件名は「作品投稿」の語句を含むようにしてください。（この語句を含まなかったり、単に「投稿」だったりすると迷惑メール扱いされる恐れがあります。）

4)ルールはフェアリー系のルールであれば何でも構いません。

5)担当者による検討は原則行いません。多少のお手伝いはできるかもしれませんが、投稿作の完全性の確認は自己責任でお願いします。

6)不完全作、類作など出題に適さない事由がない限り投稿作はすべて掲載します。

ただし、分量や投稿時期の関係で掲載時期の調整を行う可能性があります。

【作品展の開催について】

現在WFPフェアリー作品展は毎月開催の常設展ですが、担当の都合により6月と12月は開催ができません（「神無一族の氾濫」と重複するため）。申し訳ありませんが、この6月号、12月号に関してはお休みさせていただきたいと思います。

【発表作品の扱いについて】

WFPフェアリー作品展での発表は正式発表となります。こちらで発表された作品を詰パラなど他媒体へ再投稿することはご遠慮ください。

また、発表作品は本誌で年1度催される優秀作表彰制度である「Fairy TopIX」の投票の対象となります。

Fairy of the Forest#26出題

- 2010年11月18日：課題発表：（協力詰）突き歩詰
- 2011年01月15日：投稿締切
- 2011年01月18日：出題
- 2011年02月15日：解答締切
- 2011年02月18日：結果発表

■ 出題

今回の課題は「突き歩詰」です。課題発表後に思ったのですが、「き」の送りがなは不要だったかも知れません。「打ち歩詰」の「ち」を普通書かないように。

細かいことはともかく、今回の出題は4作。相変わらず集まりませんねえ。しかも、雰囲気がよく似た作品もありますし。その辺はパリエーションとしてご海容いただければ幸いです。

手数バランスは良いと思います。1題でも結構ですので、ご解答をお待ちしています。

（解答先）

→酒井博久（sakai8kyuu@hotmail.com）

■ 26-01 雲海 協力詰 15手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
								歩	四
						王			五
					歩	銀	王		六
									七
							歩		八
									九

持駒 歩2

■ 26-02 たくぼん 協力詰 25手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
							王		五	
								ス	六	
							銀	歩	王	七
							歩	歩	歩	八
								香	歩	九

持駒 なし

■ 26-03 神無七郎 協力詰 41手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
				歩					二
		歩		香					三
金	歩			香					四
歩			桂			香	金	銀	五
			王	桂			香	王	六
歩	歩	歩							七
桂	歩			歩			銀	歩	八
			金	桂					九

持駒 なし

■ 26-04 雲海 協力詰 89手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
						銀	銀	歩	二	
					銀	歩	歩	飛	香	三
					銀	桂	桂	歩	歩	四
					金	香				五
					金	香		桂		六
					金	香				七
					金	香			王	八
					金	飛	桂			九

持駒 角

第 29 回 WFP 作品展結果 担当 紅月花煉

【解答者数】 4 名
 【全題正解者】 雲海氏 神無七郎氏
 【4 題正解者】 たくぼん氏
 【3 題正解者】 K.Komine

【終わり】

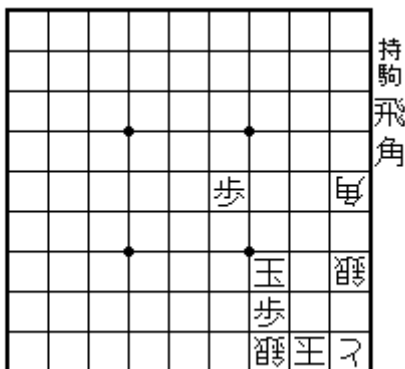
今回で担当終了です。本当に最後の方はたくぼんさんに御迷惑をお掛けしました。個人的には 1 年半位の気持ちで開始した為に 2 年はちょっと根気が持たなかった感じもありましたが楽しんで（一部では苦しんで）担当をやれました。

立候補した理由として、編集者であり解答者であるたくぼん氏本人にWFPの作品展を解いて次を待つ楽しみを持ってほしいというのが一番でした。自分が担当している間、たくぼん氏が作品展を楽しんで頂けたら立候補した甲斐があったという物です

さて、次回からは神無七郎氏が担当になります。私のような拙い解説じゃなくしっかりした解説が期待できると思います。氾濫付きには企画もあるようなのでそちらも楽しみにしたいと思います。なるべく解答者として参加出来ればなあと思います

解答纏めですが時間があれば自分のブログの方に掲載したいと思います。それでは最後の解説？コメントになります。今まで解答を送っていただいた多数の解答者に感謝！！

【第壱番】 たくぼん氏作
 協力詰 13手



【作意】
 26 飛 18 玉 36 角 27 金 同角 29 玉
 16 角 28 銀引成 39 金 18 玉 29 金 同全
 27 角 迄 13 手

【作者コメント】
 金合がちょっと違和感かな

【担当者コメント】
 初形から王手が掛かっているので簡単に手順は決まります。考え所は 4 手目の合駒ですが此処が金合なのが意外性があると思います。

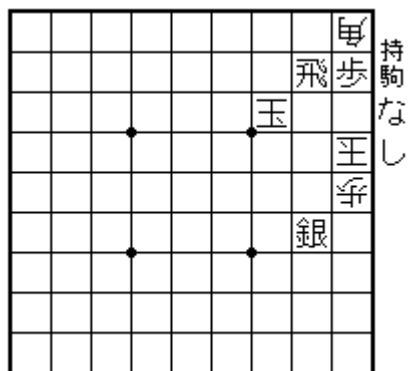
【短評】

神無七郎氏：
 考えどころは 4 手目の合駒だけですが、飛と金の二択で少考。工夫すれば中編のネタにも発展させられるかも

K.Komine：
 狭いスペースで気の利いた手順が実現されていると思う

雲海氏：
 16角と28銀成の応酬が気に入りました

【第貳番】 たくぼん氏作
 協力詰 15手
 後手：持駒なし



【作意】
 25 銀 13 玉 24 銀 14 玉 23 銀生 25 玉
 14 銀生 36 玉 25 銀 35 玉 24 銀 25 玉
 13 銀生 14 玉 24 銀成 迄 15 手

【作者コメント】

全て銀の王手・・・って飛が動けないから当たり前

【担当者コメント】

細かい銀繰りを繰り返して詰ます作品。間違っ
て15歩を取ろうとしなければ銀の動きだけを楽
しめます

【短評】

神無七郎氏：

取れる歩を取らない初手の奥ゆかしさ。銀色
に輝く波に揺られ、手紙を入れたピンは元の
磯辺に...

K.Komine：

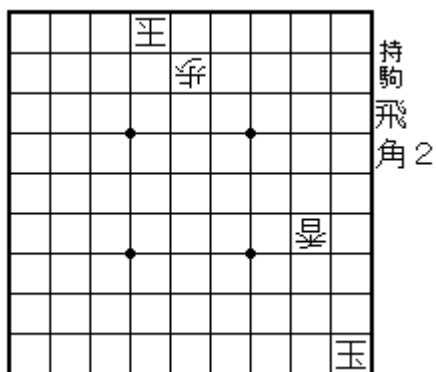
15歩を残しておくのが肝要

雲海氏：

手順は面白いですが、後手持駒なしをどうに
かできないかが気になり、いろいろ試してみ
ましたが非常に難しいですね・・・

【第参番】神無太郎氏作

安南協力自玉スタイルメイト 8手



【作意】

72角 同玉 74飛 73角 61角 同玉 64飛
63角 迄 8手

【担当者コメント】

角捨て→角合が繰り返されているのも本作品の
ポイント。4手目、73角合が一瞬王手になる
ようで打ちにくいかもしれない。

【短評】

神無七郎氏：

自玉に王手が掛かる心理的抵抗で、73角が
やりにくい。飛の打場所をもう少し遠くにて

ければ...というのは欲張り過ぎ？

K.Komine：

安南条件が余り生きてない（本当はちゃんと
意味があるんだけど）のが欠点でしょうか。

雲海氏：

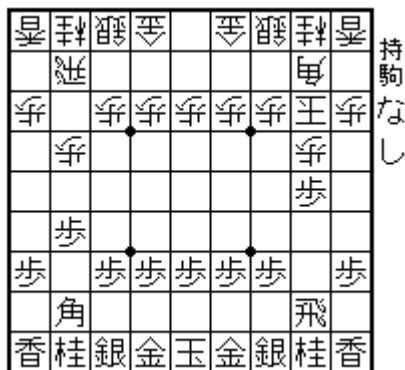
73角合ができることを最初は気が付かない
よ。でも安南らしさをもっと欲しく感じます

たくぼん氏：

安南らしさが良く出ています。よくみるとル
ール名協力が抜けてましたね

【第四番】雲海氏作

安南協力自玉詰 14手



【作意】

24歩 45玉 46歩 35玉 36歩 26玉
37桂 同玉 18飛 46玉 47歩 57玉
46歩 47桂 迄 14手

【短評】

神無七郎氏：

雲海さんもこの桂吊るしの筋を読んでいま
したか。出発点を23玉にしたので、無駄な手
がなくなって手順が締まりましたね。私の好
みとしては普通の実戦型にして、初手は27
歩が24に飛ぶようにして欲しかったですが



【第伍番】 雲海氏作
安南協力白玉詰 14手

皇	王	飛	王			王	飛	王	皇	持駒なし
	王							王		
王	王	●	王	王	王	王	王	王	王	
	王							王		
	歩									
		歩						歩		
歩		●	歩	歩	歩	歩		歩	歩	
	角							飛		
香	桂	銀	金	玉	金	銀	桂	香		

【作意】

84 歩 同玉 85 歩 同玉 77 桂 76 玉
68 王 86 玉 78 王 85 玉 87 王 84 玉
76 王 75 玉 迄 14 手

【作者コメント】

とりあえず2筋からと8筋からの2作です。
2筋からのは不動玉。8筋からのは攻方王が突進します。両方とも前半は地味ですが、後半から少し面白くなってきます。2作とも14手なのは、たくぼんさんに敬意を表して・・・と言いたいのですが、偶然です。不思議ですねえ

【担当者コメント】

姉妹作品という事で両方纏めてコメントをしたいと思う。最初に、第4番で利き二歩有効を入れ忘れてました。投稿時に指定がなくあまり確認もしなかったので付記を忘れてました。申し訳ありません

では、手順の方を見ていきたいと思います。両題共に詰上りの想定が出来ないと相当何かいだと思います。では、まず第4番から玉が飛車の側にいるのが第5番との大きな違いでこれにより桂の吊るし詰めが可能になる、これに気付くかどうかになります。良くある玉を他の駒に変えて王で止めでないのが本局最大のポイント

初手は24歩しかないなのでそれに対して玉を45に逃げて28にいる飛車をリリースする事になります。飛車を37桂で飛車の利きにした後に18飛が非常に見えにくい手になっていると思います。6段目に歩を残しておく事でその裏に逃げる事で王手回避します。玉が潜り込んだら46歩→47歩ともう一回開き王手で桂合をして詰みです

第5番の方が普通に玉を桂に変えて玉頭桂の自然な形の詰め。これは並べていけば自然に詰む易しい作品です。他の駒を玉に変えたり本来の性能に変えてちょっとずつ追い詰められていく様子が楽しめるいい作品です

【短評】

神無七郎氏：

こちらは並べていけば自然に詰む易しい作品。左右非対称の課題を意識した、オマケ作品というところでしょうか

たくぼん氏：

先手王の使い方が面白いですね。詰上りはなんとなく分かりました。いい作品です

【総評】

神無七郎氏：

今まで長らく担当を務められた紅月氏に代わり、2月号の出題稿より私、神無七郎がWFP 作品展の担当を務めさせていただきます。皆さんの投稿・解答で、これまで以上にWFP 作品展を盛り上げてくださるようどうかよろしくお祈いします

Onsite Fairy Mate 第 166 回出題解答

開催日 : 2010 年 12 月 19 日 (日)
 解答締切 : 2011 年 1 月 8 日 (土)
 解答発表 : 2010 年 1 月 9 日 (日)

協力詰 33手 (兎:銀兎)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

									一
				王					二
				兎					三
				兎					四
				王					五
									六
									七
									八
									九

攻方持駒 なし

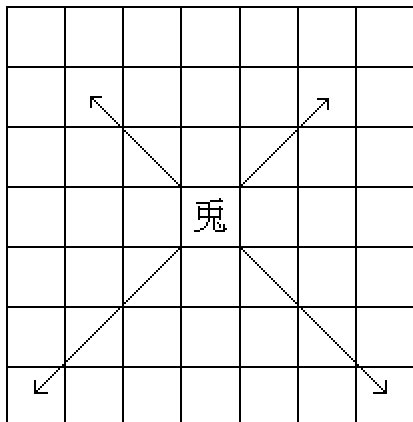
受方持駒 なし

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

兎 (銀兎)



泰将棋または大局将棋の銀兎。

【手順】

43 兎 63 玉 54 兎 73 玉 64 兎 62 玉 73 兎
 52 玉 63 兎 43 玉 54 兎 34 玉 45 兎 25 玉
 34 兎 36 玉 45 兎 37 玉 56 王 48 玉 84 兎
 59 玉 48 兎 68 玉 57 兎 78 玉 47 王 69 玉
 78 兎 59 玉 48 兎 49 玉 67 兎 まで 33手

協力詰 33手 (兎:銀兎) (詰上り)

9 8 7 6 5 4 3

									一
									二
									三
									四
									五
									六
				兎		王			七
						兎			八
						王			九

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

【解説】

まずは定跡通り詰上りから考えてみましょう。銀兎2枚では詰上り型を作れませんし、攻方王を活用しても周辺部以外で詰上げるのは無理です。従って、銀兎の利きを利用して開き王手で攻方王を移動しながら、受方玉を盤の端に追い込んでいく手順を探せば良いことがわかります。

本作での「銀兎」はほとんど「成らない角」に近い扱いですが、「前方向の利きの長さ」に制限がある」という銀兎の特徴が出る手があります。それは上記手順中の6手目「62 玉」。ここまで左に追っていたので、感覚的にはそのまま74 玉とか73 玉と追い続けたいところだと思いますが、それでは前方向への利きが短い銀兎の欠点が出てしまうのです。試しに「銀兎」を「角」に替えて、成禁の条件下で解いてみま

しょう。

43 角 63 玉 54 角 73 玉 64 角 74 玉 65 角
85 玉 74 角 76 玉 65 角 67 玉 56 角 58 玉
67 角 47 玉 56 角 37 玉 45 王 26 玉 53 角
15 玉 26 角 24 玉 35 角 23 玉 36 王 14 玉
23 角 15 玉 26 角 16 玉 34 角 まで 33 手

この手順の 27 手目 36 王と 29 手目 23 角が「角」だからこそ成立する手。「銀兎」だとこの 2 つがそれぞれ非王手と反則になってしまいます。他にも紛れはありますが、結局玉を盤の横側に押し付ける詰上り型は成立せず、玉を 9 段目に押し込む詰上り型のみが成立します。

本局は年賀詰ということで形を重視（初形「1」）したために、銀兎の特徴が紛れに隠れる形になってしまいました。今度は（機会があれば）銀兎らしい手順が表に出る作品を目指すことにしましょう。

【正解者及びコメント】（正解 5 名：到着順）

瘋癲老人さん

53 の兎を 2 回動かすのが巧手。これで 2 手縮まるのはちょっと不思議な感じ。兎が前に三つ効くと余詰むあたりも感心します。

☆ 第 161 回出題で取り上げた「猛牛」もそうでしたが、古将棋の「足の短い走り駒」はちょっと不思議な手順が出てくることがあります。本局では銀兎と角の違いが余詰防止にしか働いていませんが、2 つの駒の違いを表の手順に活かすこともしたいですね。

もずさん

久しぶりの解答になります。チェスでビショップが 2 つ残ったときのエンドゲームに雰囲気似ていますね。この駒は後ろにしか長い利きがないので、先手王を動かすためには後手玉が裏側に回り込む必要があり、それを 2 度繰り返して詰みに至ります。最近ではフェアリーから離れていたのですが、「新約・神話大全」の原稿に取り組むためにブランクの間に発表された作品を鑑賞しているところです。

（年内の締め切りに間に合いませんでした。申し訳ありません。）

☆ もずさんは第 131 回出題以来の解答ですね。正に古豪復活といったところでしょうか。残念ながらこちらのサイトでの出題は次回をもって一旦休止になりますが、その分 WFP での活躍を期待しています。

「新約・神話大全」は原稿の集まりが思わしくないようですが、神無太郎さんのアピール不足にも問題があるので、まあ多少の遅れは仕方ない気もします。

でもこれが完成したら、「電子書籍を前提とした詰将棋本」という初の試みとなるのでしょうか？ iPad 版「将棋世界」のように駒が動く嬉しいんですけど、今回はそこまではしないのでしょうかねえ。

たくぼんさん

16 玉型で詰んだと思ったら、途中兎による非王手があり考え直しました。角ではない理由がちゃんとあるんですね。

☆ 本局では銀兎の特徴は紛れに隠れていたもので、直に作意に入られると辛いのですが、皆さん割と 16 玉型の紛れを読んでいたようで、作者としては助かりました。

今度は作意手順でちゃんと銀兎を使わないといけませんね。

ところで、たくぼんさん以降の解答は年賀詰であることを考慮してか、年が明けてからの解答でした。新年のウォーミングアップの役に立ちましたでしょうか？

渡辺さん

2 枚の兎だけでは詰まないで先手玉を 2 回縁に向かって動かして 3 枚で詰める必要があります。そこで効率的に 2 回の空き王手をすることを考えます。初手から 44 兎までは（対称を除いて）これしかない手。このあと素直に 34 玉から上を回っても最短で空き王手が出来ますが、兎の空き王手は後でしか出来ないため 2 回目に手数がかかり過ぎます。そこで一見無駄に見える「42 玉、33 兎」の交換で逆回りを強制させれば、意外と近くてやはり 56 玉までで最短。今度は手順にもう一つの兎の後利きが玉に隠れて 2 回目も早く、あとは自然に詰みませぬ。

☆ 渡辺さんは第 159 回出題以来、少しだけお久しぶりの解答です。今回はお正月休みを利用しての解答ということですが、貴重なお時間

を解図に充ててもらって光栄です。なお、上の短評にもあるように渡辺さんは 63 兎から入った解答でした。次の雲海さんも 63 兎から入っており、今回の解答者では 43 兎の右派 3 人、63 兎の左派 2 人という拮抗した結果になりました。作者はもっと右派が多いかなと思っていたのですが、意外とそうでもないようです。

雲海さん

王で 2 回以上開き王手をしないと詰まないの方針は立てやすいのですが、結構難しかったです。最初のロイヤルバッテリーを作った後、そのままの流れで角追いならぬ兎追いをしたくなるのですが、ここで逆回転するのが心理的に見つけにくかったです。最初の開き王手でどこへ王を動かすかが難しいかなと思っていましたが、ロイヤルバッテリーを作るためには 56 が一番自然でしたので、意外と悩まず。密室物を作っていると角追いの非限定に悩まされるのですが、この作では角と似た性能の兎を 2 枚使い、かつ盤面一杯使う手順であるのにそれでも非限定なしとは驚きです。

☆ 雲海さんの短評で「ロイヤルバッテリー」というキーワードが出てきましたが、これは協力系、特に協力自玉系の詰将棋で詰手順を一気に難解にする重要な要素です。そもそも私たちは「王で王手する」ということに慣れていません。玉の利きが変わったりしていない場合、王で王手するには開き王手を利用するしかなく、どうやって「王を走り駒の前面に据える形（＝ロイヤルバッテリー）」を作るか、ということを考えねばなりません。また、王の開き王手で王の位置が変わることにより、詰上りの想定を困難にすることも、難度を大きく上げる要因です。一時、川清雄氏が攻方玉の移動を含んだ難解な協力自玉詰を数多く発表していましたが、協力自玉詰でなくともロイヤルバッテリーが出てくるような作品は解き応えのある作品になり易いと思います。皆さんもロイヤルバッテリーを素材にした作品を創作してみてはいかがでしょうか。

☆ すでに WFP で告知されましたが、来月より WFP 作品展の担当をすることになりました。そのため、このサイトでの出題は次回をもって

一旦休止し、WFP 作品展の方に専念する予定です。

また、本来なら今回は昨年度解答成績の集計を発表する時期ですが、それでは次回分が中途半端に余ってしまいますので、特例として次回分を 2010 年度解答成績に合算したいと思います。ご了承ください。

次回の出題は一週間後（1月 16 日）を予定しています。

管理人の作品ではなく、久々に投稿作品が登場しますのでお楽しみに！

(2011.1.9 七郎)

～果報は寝て待て～ 追記

2011/01/12：神無七郎

WFP17号（2009年11月）で「果報は寝て待て」と題し“パスができれば早く詰む詰将棋”を募集しました。今回、このうちの【課題A】に対し大幅な記録更新がありましたので報告します。この催しからも随分時間が経ったので、まずは【課題A】を復習してみましよう。

【課題A】

受先形式の協力詰ならN手、通常の協力詰ならN+3手以上で詰む図を作れ。
ただし、両者の詰上りは（持駒も含めて）同一であること。

この時、受先と通常の手数差の最大記録は、たくぼん氏の47手（通常51手&受先4手）だったのですが、今回達成された記録は手数差16195手！という桁違いのものです。作者は最近活動を再開されたもず氏。それでは、その図と手順をご覧くださいませ。

もず氏作

協力詰 16227手&32手

										角金	一
	王	角	進	進	爵	香	香	銀			二
	金	香		爵	零		桂	王			三
		桂	科		爵	卒					四
	皇	科	零		卒					歩	五
歩					卒					歩	六
	卒	歩	卒				歩				七
	歩		歩		歩						八
		マ	歩								九

持駒 なし

(通常)

14歩 24玉以下「寿限無」と同様の手順で16227手

(受先)

14歩 同歩 22玉 13歩成 同玉 14歩
24玉 25歩 35玉 36歩 46玉 47歩
57玉 58歩 66玉 67歩 77玉 78歩
86玉 87歩 96玉 97歩 95玉 96歩
94玉 92金 83香 93金 84玉 83金
94玉 95香 まで 32手

【作者のコメント】

WFP第17号で募集された「果報は寝て待て」の課題Aで、「寿限無」の配置をほぼそのまま使って超長手数を実現できました。本当にただ気づいたというだけで、オリジナリティは全くありませんし、課題Bの方が重要なお題だったと思いますが、一応指摘だけさせていただきます。

「『龍の顎』補足情報」を参考にさせていただきましたが、受先での余詰が強力で、有効に使えた工夫は8筋での歩下げくらいしかありませんでした。

もず氏の仰る通り長手数原理自体は既存のものですが、本課題には「詰上りが同一であること」という条件が付いており、受先の解で余詰を消すのは結構難しいはずですが、この図では、盤上の受方駒が暴れ出さないよう慎重な配慮がなされており、52・62と横に2枚並んだ飛の配置や75桂の利きを止める87・67の2枚の歩には特に感心させられます。

作者はオリジナリティを重視されて「創作」という言葉を避け「ただ気づいたというだけ」と仰っていますが、この図には単なる発見以上の創意工夫が込められているのは明らかです。こういう場合に使えるような、「創作」よりも弱く「発見」よりは強い何か良い呼称が欲しいですね。

更にもず氏はこの作の仕組みと【課題B】への応用についてこう述べています。

「寿限無」の場合、1筋まで行って一步不足の場合最初の局面に戻らざるを得ません。これを利用して、受先の初手に「攻方に一步渡す」という意味づけを与えたものです。

この意味づけは普通の詰将棋でも不可能ではないと思いますが、今のところ適用可能な場面を思いつきません。

他の意味付けの発掘や普通詰将棋への応用について、皆さんもぜひ考えてみてください。

それにしても、主催者自身が半ば忘れかけた頃に、突然こんな大作が飛び込んで来るとは…正に「果報は寝て待て」ですね。

以上

2011年フェアリー年賀詰紹介

担当 たくぼん

Onsite Fairy Mate 新春戯作

神無七郎作 兎入り協力詰 33手

* 本号OFM166回出題結果発表ページをご覧ください。

詰将棋メモ年賀詰展示室

天津包子作 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
				角					四
	歩	馬	王	料	遊				五
	ス				桂				六
				飛					七
			桂						八
									九

持駒 桂

DD++ 推理将棋 23手

「後手玉棒立ち」

「さっき指し初めしてたね。どうだった？」
 「縁起がいいことに、23手で詰ませて勝ったよ」
 「平成23年だけに、か。」
 「うん、相手の居玉に11回王手をかけて快勝」
 「2011年だけに、か。そりゃ確かに縁起がいいね」
 「景気良く成りまくったから不成の手はなかったよ」

さあ、どういう将棋だったのでしょ。推理してくださいね。

条件

- ・23手で詰んだ
- ・後手居玉への王手が11回
- ・不成なし

小林看空作 打歩協力詰 33手

9	8	7	6	5	4	3	2	1		
									一	
									二	
									三	
									四	
									五	
						角	角		六	
						香	歩	香	歩	七
					金	香	王		八	
					香	桂			九	

持駒 飛2銀2

長谷繁蔵 協力詰 5手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
					料				三
				馬	歩	王	馬	銀	四
				龍				馬	五
							馬		六
						王			七
									八
									九

持駒 飛

吉田直嗣 推理将棋 11手

「さっきの将棋、11手で勝ったよ」
 「それは新年からめでたいね。どんな手があったの？」
 「2手目はO（オウ=王）、11手目の初王手で詰みだった。トドメの一手は自慢の23兎（=2三と）だよ。そうそう、5筋の手があったよ」

さて、指し初めのめでたい一局とはどんな将棋だったのでしょうか？手順を推理してみましよう。

条件

- 1) 23と迄11手詰
- 2) 2手目は玉の手

3) 5筋の手あり

たくぼんの解図日記

感想も届いておりますので掲載しておきます。
解答ありがとうございました。

たくぼん作 強欲ばか詰 15手

										9	8	7	6	5	4	3	2	1	
																			一
																			二
																			三
																			四
																			五
																			六
																			七
																			八
																			九

持駒 なし

25 飛 36 玉 83 角生 25 玉 34 龍 同玉
61 角生 45 玉 57 桂 54 玉 43 角生 44 玉
45 歩 55 玉 65 角成 まで 15 手

神無七郎

正面から解こうとすると7手目が見えにくいですが、「年賀詰」ということで詰上りを想定したら分かりました。

「○がピョンピョンと○回動く」とか書くとヒントの出し過ぎでしょうか？

平井康雄

「7手目が見えにくい」というのが大ヒントで、やっと解けました。頭6手はマギレようがないですから、そこで「見えにくい手」なら他にないですね。ヒントなかったら解ける気がしません。

(注) 作意が未発表の作品の解は載せられませんのでご了承下さい。

妖精賞の系譜 (18)

第 22 回 妖精賞 (2009年)

2009年7月より1年半掲載してきました「妖精賞の系譜」も今回が最終回となりました。紹介する事をコンセプトにしていまいりましたので詳細な解説が出来ていない部分が多々ありますが何とか役目を果たせたかなとは思いますが。

なお妖精賞の前身に「前衛賞」がありますが、私自身受賞全作を把握できておらずまだ白紙の状態です。受賞作を御存知の方の協力をお願いしたいところです。どなたか一覧もしくは御存知の年度だけでもかまいませんので私宛に連絡頂ければと思います。準備が出来次第スタートしたいと思います。

2009年も、担当者の片岩氏の選考によって妖精賞が決定しております。今後もしばらくこの形が続くのでしょうか。最後の最後に自作の受賞作紹介となったのはまさに奇遇ですね。まあたまにはこういうのもいいでしょう。

【短編部門】

詰将棋パラダイス 2009年1月号

中出慶一 作 ばか詰 9手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
					皇	銀				三
			銀							四
										五
					王					六
										七
										八
										九

持駒 桂歩

57歩 46玉 58桂 45玉 54銀生 44玉 53銀
左生 55玉 56香 迄 9手

詰上図

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
										一
										二
					銀					三
					銀					四
					王					五
					香					六
					歩					七
					桂					八
										九

持駒 なし

片岩裕貴 (妖精賞発表時コメント)

短編部門の中出作は 53 香が詰上りを暗示しているきらいはありますが、「1」の字のあぶり出しとして出来のいい作品だと思います。

解説 (片岩裕貴)

ぱらっとした初形から、詰上り「1」になります。この配置で、この手数であぶり出しというのは珍しいのではないのでしょうか。幸運と言ってしまうかもしれませんが、作者の不断の努力の成果と言えるでしょう。

原雅彦

香を取っては間に合わないと思っただけにビックリ。

国兼秀旗

この詰み形に持って行くのはフェアリストならひと目。

★ 担当者は「この手数であぶり出しというのは珍しい」と書かれていますが、そんな事はないでしょう。持駒に飛角香が無ければ十分あると思います。私は 53 香配置から詰上りが見えてすぐに解けたせいか評価は普通でしたが、見る人が違うと感じ方も違うのだなあと思いました。

【中編部門】

詰将棋パラダイス 2009 年 10 月号
tomo 作 キルケばか自殺詰 16 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王									一
									二
	飛								三
									四
				馬					五
							銀		六
									七
									八
					金		王		九

持駒 なし

55 馬 18 玉 54 馬 19 玉 64 馬 18 玉 63 馬
19 玉 73 馬 /82 飛 18 玉 72 馬 19 玉 82 馬
18 玉 98 飛 88 飛 81 馬 同飛成 /88 角
まで 18 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
王	銀								一
									二
									三
									四
							銀		五
									六
									七
飛	角							王	八
					金				九

持駒 なし

片岩裕貴 (妖精賞発表時コメント)

中編部門の tomo 作はほとんど舞台装置といえるものがないところで馬鋸を成立させた作品で、攻方の着手9回のうち8回までもが馬鋸の着手という純度の高さも素晴らしいです。

解説 (片岩裕貴)

飛を手に入れたいところなのですが、単純に

飛合で手に入れようとしても、82 が空いている状況では持駒にならないので、馬鋸で 73 の飛を取って 82 を埋めます。ここで飛合をする手も考えられますが、うまく収束できないので、82 で飛を取ります。ここから残り4手しかないので、キルケを活用して一気に呵成の収束は気持ちいいのではないのでしょうか。

結局、振り返ってみれば 45 の馬が馬鋸で 81 まで行ったことになります。舞台装置らしきものがほとんどない中で、ばか系のこの手数で馬鋸が成立しているのはすごいと思いました。

西村恒雄

18 手目は3種類の手を指しているよう。自玉の王手を取った相手の角の瞬間移動で防ぎ、自分で自分にも紐をつけている。

駒井信久

最遠打と最遠中合の応酬で見事に決まる。

須川卓二

手数から馬鋸と推測できた。キルケで飛を取得するには2回取らないといけないのがユーモラス。

★ ほとんどが馬鋸手順で自殺するユーモラスな一局。作者は難解作も創りますがこういった作品にもセンスが光りますね。

【長編部門】

詰将棋パラダイス 2009 年 6 月号
たくぼん 作 強欲ばか詰 79 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	飛	ス	と		と	銀			一
			歩			飛	飛	銀	二
	ス	桂					と		三
	飛	香				馬		歩	四
	料			銀	と	料	王	香	五
	香	と	飛	と	歩	香		香	六
		ス							七
	飛		手	飛	銀	歩			八
			角	金	金			金	九

持駒 なし

35 と 16 玉 28 桂 15 玉 25 と 同玉
 24 と 同玉 16 桂 14 玉 23 銀生 同玉
 22 銀成 同玉 23 歩 同角 32 香成 同玉
 24 桂 41 玉 32 桂成 同角 51 と 同玉
 61 歩成 同玉 71 桂成 同玉 81 香成 同玉
 82 歩 同玉 93 飛成 同玉 94 歩 同玉
 95 と 同金 86 桂 同金 95 歩 同玉
 96 歩 同玉 87 角 同金 97 歩 同玉
 87 飛 同玉 77 金 同玉 76 と 同角
 68 金 同玉 58 金 同角成 57 銀 同玉
 66 銀 46 玉 57 銀 同馬 47 歩 同玉
 39 桂 同馬 48 歩 38 玉 29 金 48 玉
 39 金 同玉 93 角 57 飛 同角成 49 玉
 39 飛 まで 79 手

詰上図

											9	8	7	6	5	4	3	2	1
											一								
											二								
											三								
											四								
											五								
											六								
						馬					七								
											八								
							王	飛			九								

持駒 なし

片岩裕貴（妖精賞発表時コメント）

長編部門のたくぼん作は、伏線入りの煙詰で、最後に古典ばか詰が現れるという、謎解きと遊び心を兼ね備えた作品です。

解説（神無七郎）

21 手目 32 桂成の伏線など、手順は決して単調ではありません。収束には例の裸玉が出現し、煙詰と裸玉が一度に楽しめる仕掛けになっています。

平井康雄

—（前略）数日悩んだところで、この古典的な収束形を思いつき、角さえ取れば金も銀も捨てて良いという方針が立って、やっと道が開けた。その後でもこの手順に辿り着くまでは結構苦労させられた。32 桂成、同角の伏線の手順も好感触。

増田智彬

63 手目の 57 銀がちょっと発見しづらかったのですが、他は易しくて、楽しく解けました。たくぼんさんは他にも見事な強欲の煙詰を創っておられます。ご覧になりたい方は W F P へ是非！。

★ 煙詰と裸玉を合体させた一局。強欲ばか詰は手順が単調になり易いだけにプラス α を何にするのかが重要です。伏線も入り何とか見られる様になりました。

妖精賞一覽

第 1 回（1988年）

2 月号 金子清志 ばか自殺詰 10 手

第 2 回（1989年）

（短編）8 月号

山田嘉則 + 花沢正純 安南ばか自殺詰 10 手

（中編）9 月号

上田吉一 二玉詰 25 手「オーロラ II」

（長編）6 月号

小野小町 ばか自殺詰 1680 手「集積回路 II」

第 3 回（1990年）

（短編）9 月号

神無太郎 安南ばか詰 5 手

（中編・年間グランプリ）5 月号

山田嘉則 安南ばか自殺詰 30 手

（長編）該当なし

第 4 回（1991年）

（短編・中編・長編）該当なし

（パズル）4 月号

若島正 + 上田吉一 手順探索 44 手

第 5 回（1992年）

（短編）9 月号

山田嘉則 L & 炮入りかしこ詰 7 手

（中編）該当なし

（長編）4 月号

吉田直嗣 ばか自殺スタイルメイト 50 手

（パズル）6, 8 月号

上田吉一 推理パズル（覆面）4 題

第 6 回（1993年）

（短編）該当なし

（中編）5 月号

岩本修 安南ばか自殺詰 44 手

（長編）5 月号

橋本哲 自殺詰 872 手

第7回 (1994年)

(短編) 該当なし

(中編) 8月号

岩本修 安南詰 19手

(長編) 6月号

神無七郎 対面ばか詰 73手

(パズル) 4月号

上田吉一 連続ばか自殺スタイルメイト 38手

第8回 (1995年)

(短編) 3月号

トドさん ばか詰 5手

(中編) 10月号

岩本修 安南詰 45手

(長編) 該当なし

第9回 (1996年)

(短編) 7月号

弘光弘 ばか詰 13手

(中編) 該当なし

(長編) 該当なし

第10回 (1997年)

(短編)

2月号 ちゃっくん ばか詰 7手

7月号 中村圭吾 覆面入りばか詰 7手

(中編) 該当なし

(長編) 11月号

森 茂 ばか千日手 462手

第11回 (1998年)

(短編)

8月号 内田昭 ばか自殺スタイルメイト 12手

4月号 高坂研 プルーフゲーム 18手

(中編)

10月号 上田吉一 G入りかしこ詰 21手

(長編) 該当なし

(新人賞) 長谷繁蔵

第12回 (1999年)

(短編)

4月号 近藤武 Kマドラシばか自殺スタイルメイト 6手

(中編)

10月号 上田吉一 自殺詰 16手

(長編)

11月号 森 茂 ばか自殺詰 122手

第13回 (2000年)

(短編) 該当なし

(中編)

12月号 神無太郎 ばか自殺詰 (ツイン) 42手

(長編) 該当なし

(長編・特別賞)

12月号 神無大九郎 全取禁成禁ばか自殺詰 64手

第14回 (2001年)

(短編)

5月号 加賀孝志 対面ばか自殺詰 6手

(中編)

9月号 小林看空 ばか詰 39手「虹姫」

(長編)

2月号 加賀孝志 対面ばか自殺詰 62手
「夕焼け小焼け」

第15回 (2002年)

(短編)

8月号 内田昭 ばか自殺詰 10手

(中編)

10月号 松さか子 安南詰 27手

(長編)

1月号 千々岩倫太郎 ばか詰 53手

第16回 (2003年)

(短編)

2月号 神無太郎 対面ばか詰 5手

(中編)

4月号 加賀孝志 ばか詰 17手

(長編)

6月号 神無三郎 ばか詰 205手 「霧姫」

第17回 (2004年)

(短編)

3月号 勇者ロト 背面ばか詰 9手

(中編)

11月号 神無七郎 対面ばか自殺詰 30手

(長編)

6月号 森 茂 ばか詰 12555手「龍の顎」

第18回 (2005年)

(短編)

2月号 神無太郎 対面ばか自殺スタイルメイト (ツイン) 8手

(中編)

6月号 神無太郎 マドラシばか自殺スタイルメイト 20手

(長編)

10月号 森 茂 ばか詰 125手

第19回 (2006年)

(短編)

8月号 金子清志 ばか自殺詰 12手

(中編)

10月号 小湊奈美子 安南打歩詰 33手
(長編)

6月号 森 茂 ばか詰 1965 手

第20回 (2007年)

(短編)

3月号 佐々木寛次郎 安南ばか詰 5手

(中編) 該当なし

(長編)

12月号 北村太路 PWC ばか千日手 498手

第21回 (2008年)

(短編)

2月号 金子清志 キルケばか自殺詰 14手

(中編)

6月号 北村太路 最悪詰 44手

(長編)

4月号 中村雅哉 ブルーフゲーム 56手

第22回 (2009年)

(短編)

1月号 中出慶一 ばか詰 9手

(中編)

10月号 tomo キルケばか自殺詰 18手

(長編)

6月号 たくぼん 強欲ばか詰 79手

【受賞回数】 (複数回)

1位	上田吉一	6回
2位	神無太郎	5回
2位	森 茂	5回
4位	岩本 修	3回
4位	加賀孝志	3回
4位	金子清志	3回
4位	山田嘉則	3回
8位	神無七郎	2回
8位	内田 昭	2回
8位	北村太路	2回

★ 受賞回数1位はパズル部門での活躍が目立った上田さん。さすがというしかないですね。2位には予想通りというか太郎さんと(故)森さんです。太郎さんは予想通り。森さんは発表数から考えると凄いとしかいいようがありません。4位には山田さん始め御馴染みのメンバーですが、詰四会でよくお会いする岩本さんが入ってますね。今度また作品創るようによく言っておきます。七郎さんの2回は意外です。どうしてなのでしょう?北村さんの2回はまだこれからどんどん増えそうですので期待しています。

たくぼん

お便りより

北村太路

久しぶりに投稿した作の結果稿を読んだので小学生並み(以下?)の感想文を書ってみました。全体ではなく、自分に関係する部分の感想です。

第28回WFP作品展第1番はすいません。笑ってはいけないのですが、第1発見者のたくぼんさんが再度頭を悩ましたという話は失礼ながら笑ってしまいました。

第3番もすいません。6手解があったとのことで、作作的には早詰です。

解説で、初形8五飛=角、9三角=飛になる、と書いてあったのですが、相手の駒なのでそうはならないはずです。

そうでないと、初形で受方に王手がかかっていることになりすし、2手目7六玉が王手を回避していない禁手になります。

9三角は、3手目から9七王(8五飛が王の利きになって王手)、4三玉、9三王・・・の余詰封じで、

安騎らしさを出すためわざと騎の利きで配置したのが、解説者を混乱させる結果になってしまったようです。

初形受方9三角を8七に移動すれば、3二にも利いて6手解を防ぐことができるようです(神無七郎さん案)

総評で七郎さんに「復活」と書かれたので、ネタはないですが、なんとか作らないといけないな、と思っています(笑)

で、WFP作品展のあと、OnsiteFairyMateの結果稿が。デ・ジャブかと思ったんですが。

なんのことはない、今回8ページに載っていた結果稿が15ページから再度載っていただけでした(笑)

(*修正いたしました。たくぼん)

電子媒体だと紙と違って紙代がもったいない、とかそういうことがないからいいですね。

続いては、ばか詰ギネス。

5番は雲海さんのコメントを見て、ちょっと笑いました。私も一度最終手非限定かと思ったことがあったので。

狙いが持ち駒数なので、手抜きで3八角で無理やり一意解にしました。すいません。

6番は難しくするつもりはサラサラなかったのですが、ちっとも余詰が消えないので、(いつものごとく)無理やりfmで収束をでっち上げ

ました。

難しくする必要はない御題なので、できれば簡単な自明な収束にしたかった。。。

捻りが足りなかったか、たくぼんさんが同一構想を作っているところに送ってしまいました。隅の老人Bさんが言われるのはもっともなことだと思います。申し訳ないです。

こういう直言はありがたい、と思いつつ、また似たような作ばかり作っていたりするんですが（ダメじゃん）

で、個人ごとで申し訳ないんですが、今回のWFP30号で一番驚いたのが。

第21回妖精賞中編部門北村太路作。

・・・え???

・・・全く知らなかった!!!

受賞から1年5ヶ月後に知りました。

WFP読んでなかったら、知らないまま終わってるところだったかもしれません。アブねー。

で、なんであれが受賞なの?と疑問に思ったり。

ふと気づいたんですが、もしかしたら2008年詰パラに載ったフェアリー詰将棋で中編（16手～49手?）の作品って

あれ1題だったとか、そういうオチじゃないのか?と思いました（笑）

長編は大傑作で自分も解いて感動した記憶があるのですが、このWFPを見て「ああ、50手超えてくれてよかった」

という邪な感想も持ちました。

北村太路

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2月12日（土）

Onsite Fairy Mate 167回出題

*ナイト玉成禁協力詰 1題

2月15日（火）

Fairy of the Forest #26 協力詰 4題

あとがき

さて2010年も終わりましたので、恒例のFairy Top IX 2010 お気に入り投票の時期になりました。Fairy Top IX 2010 とは2010年にネット上に発表されたフェアリー詰将棋、推理将棋、プルーフゲームを対象にお気に入り投票を行い上位作に受賞するものです。

来月に投票要項を掲載し、投票期間を経て4月号結果発表というスケジュールです。（詳細下記）昨年と同じように作品一覧（PDF）を作成する予定で、投票者数の増大を実現したいと思います。

Fairy Top IX 2010 お気に入り投票要項発表
WFP 2月号

投票期間

2月号発行日～平成23年3月末

投票結果発表

WFP 4月号

こういったイベントはたくさんの参加があってこそ盛り上がるものです。たくさんの御参加お待ちしております。

たくぼん

2011年 第31号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十三年一月号

平成二十三年一月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp